

おんなの渦と淵と流れ（1964）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 116分
初公開日 1964/10/21

【解説】
榛葉英治の小説『渦一渦・淵・流れ』を成沢昌茂が脚色し中平康が監督した。
英文学者の沼波敬吉は大連で昭和十三年に須賀子と結婚した。敬吉は貞淑な須賀子に文学論を語るのだが、彼女が関心を持たなかったため、そういった話を一切しなくなった。結婚五年目のある日、大連を訪れた友人の田所を須賀子が誘惑しているのを見て、敬吉はショックを受ける。二人は昭和二十一年に帰国し、須賀子が小料理屋を出すことになった。そして須賀子が客の男と肉体関係を持つ現場を、敬吉は押し入れの穴から見てしまう。東京の出版社で勤めるようになった敬吉は、同僚の広子が働きながら大学に通っていることを知り、自分の研究助手にするのだった。

【クレジット】
監督 中平康
企画 芦田正蔵
原作 榛葉英治 「渦・淵・流れ」
脚本 成沢昌茂
撮影 山崎善弘
美術 大鶴泰弘
編集 井上治
音楽 黛敏郎 Toshiro Mayuzumi
出演 仲谷昇 沼波敬吉
稲野和子 沼波須賀子
雨宮節子 三重
北村和夫 大谷浩平
巖金四郎 片瀬直彦
加藤武 瀬川
神山繁 田所
二階堂郁夫 松川
楠侑子 君子
庄司永建 乃川
沢村貞子 関口富子
川地民夫 研一
標滋賀子 陽子
谷口香 志村広子
下條正巳 影山昌三
三樹高雄 敬吉の叔父
雪丘恵介 県の局長

八代康二	県庁の役人 A
高山千草	大連社宅の婆や
谷川玲子	身売る女
茂手木かすみ	“青柳”の連込み女
小沢昭一	福山
藤村有弘	池田